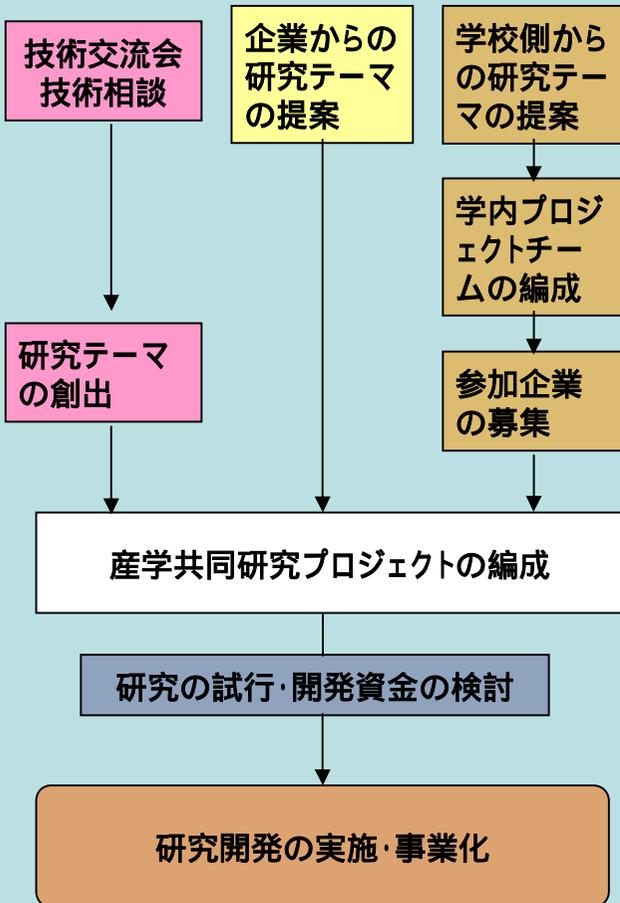


## 研究開発の流れ



## 共同研究・受託研究の件数

区分	平成 14年	平成 15年	平成 16年
民間との 共同研究	2	1	4
受託研究	2	3	3

## 対応可能な技術分野

機械系	機械加工、機械設計、機械振動、機械制御、熱流体、エネルギー	境界領域技術
電気系	回路設計、半導体材料、高電圧技術、マイクロ波応用、電気電子制御、電気電子材料、プラズマ応用、アクチュエータ応用	
電子・情報系	電子計測、電子回路、電子材料評価、プラズマ応用、情報通信、情報システム、コンピュータネットワーク、システムプログラム	
生物・応用化学系	有機・無機合成、分析、物質の分離・精製、流体輸送、環境保全、生物応用	
材料系	金属材料、セラミック材料、環境保全、表面処理、材料開発、エネルギー応用	
基礎系	数学、物理、英語（技術翻訳を含む。）、文学、哲学、保健体育	

### アクセス

近鉄名古屋線白子駅下車。白子駅西口から三重交通バス平田町行き・鈴鹿サーキット行きに乗車約10分。東旭が丘3丁目で下車。バス停から徒歩10分。



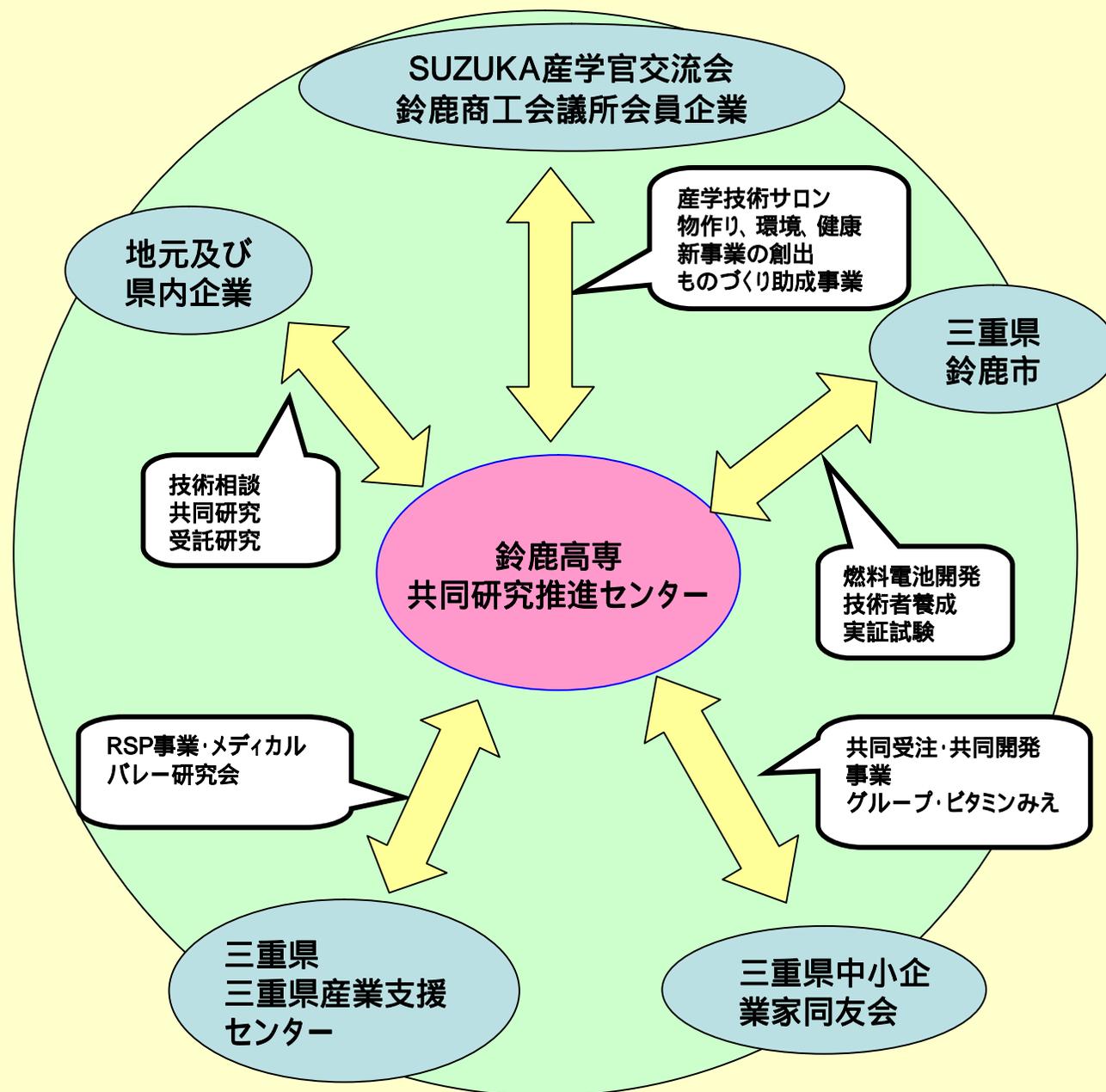
～地域企業との  
パートナーシップを築く～  
鈴鹿高専  
共同研究推進センター



共同研究推進センターは、地域企業等と鈴鹿高専の連携による共同研究を円滑に行うための中核となる施設です。地域に根ざした工業系の高等教育機関として、本校が所有する教育研究機能、知的資源、施設設備、これまで蓄積されてきた技術等をベースに、地域と密着した共同研究プロジェクトを流動的、機動的に推進します。

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町  
Tel 0593-68-1981  
Fax 0593-87-0338

## 産学官連携において本校の役割



### SUZUKA産学官交流会とは

産学官の連携を促進するとともに、新しい製品、技術、サービス、マーケティングの開発に資することを目的に平成11年7月に発足しました。鈴鹿商工会議所、三重県鈴鹿市に所在する企業、国、県、市の行政機関、鈴鹿市内企業OB、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿国際大学、鈴鹿工業高等専門学校の教育機関が参画しています。

### 産学技術サロンとは

人間、社会、科学・技術、教育、産業等を自由闊達に意見交換する中から、新しい価値観、心、技術、そして新事業を見出すことを目的に、共同研究推進センター会議室を会場に毎月最終金曜日に開催しています。

### ものづくり助成事業とは

産学官の連携による研究開発を強化し、製造業の活性化を図るために、市内の中小製造業者等が大学(大学院及び短期大学を含む。)及び高等専門学校と共同により、またはその指導により行う新技術の研究開発に要する経費に対する補助事業です。

### RSP事業とは

大学等の研究機関と連携をとりながら、産業支援センターが中核となり、地域独自の研究成果を育成し、独立行政法人科学技術振興機構を始め、国の諸事業を活用して研究成果を実用に活かし、新技術・新産業の創出を推進します。

### 技術相談とは

機械工学科、電気電子工学科、電子情報工学科、生物応用化学科、材料工学科の各専門分野と一般科目(理系・文系の各教科)の本校教員に、現場で解決を迫られている問題や疑問など様々な技術相談を受けることができます。

### 燃料電池を核とした産学官連携事業

燃料電池を核とした産学官連携ものづくり事業では、三重県及び鈴鹿市と連携しています。この中で本校では燃料電池関連技術者の養成、1KW定置型家庭用燃料電池の実証試験、および地域企業と共同研究しながら、新しいタイプの燃料電池の開発を行っています。